

# 日本・ポルトガル修好 150 周年にあたり ポルトガル現代作家が来日、日本の作家らと交流

2010年は日本とポルトガルの修好150周年にあたります。国際交流基金(ジャパンファウンデーション)はこの機会に、ポルトガルから現代作家で、リスボン新大学准教授のルイ・ズィンク氏を招へいします。

ズィンク氏は、短編・長編・ロマンス・児童書・学術論文・漫画アニメの原作、構成など、幅広いジャンルで精力的に執筆活動を行い、ポルトガルのみならず欧州文学界に影響力を有する前衛的作家です。

これまでに発表した作品は30近く、翻訳された言語は10に上り、日本でも小説『A Espera』が『待ちながら』と題し、2006年に刊行されました。今回の訪問では、日本の作家や研究者、学生との意見交換を行い、さらに、ポルトガルゆかりの地である長崎や京都を視察します。

招へい期間 2010年7月4日(日)~7月15日(木) 12日間(東京/長崎/大阪/京都)  
主な視察・訪問内容

東京大学文学部 / 東京外国語大学外国語学部 / 京都精華大学マンガ学部(講演、意見交換)  
瀬戸内 寂聴氏(作家) 野上 暁氏(日本ペンクラブ理事、「子どもの本」委員会委員長)

東京大学ルイ・ズィンク氏特別講義「ポルトガル文学は今」 <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/event/1604.html>

日時: 2010年7月9日(金) / 13:10~14:50 場所: 東京大学 文学部1号館3階310教室(本郷キャンパス)

司会: 野谷文昭(東京大学文学部教授 / 現代文芸論・ラテンアメリカ文学)

詳細: 現代文芸論研究室 <http://www.l.u-tokyo.ac.jp/genbun/>

\* 聴講自由、事前登録不要。 \*\* 使用言語: ポルトガル語(日本語通訳付)

## ルイ・ズィンク (Rui ZINK) 49歳

1961年、ポルトガルのリスボン生まれ。作家、リスボン新大学准教授。現代ポルトガル文学におけるアンダーグラウンド系の代表作家とされる。挑発的な姿勢で創作活動を続け、作品は若い世代を中心に高い人気を博している。2003年に東京国際ブックフェアに招待作家として参加。2004年には、ポルトガル海軍軍人、著述家のヴェンセスラウ・デ・モラエスの生誕150周年記念イベントの際に訪日している。

主な著作等: 2008 『O Destino Turístico (仮題: 観光地)』(小説)

2005 『A Palavra Mágica (仮題: 不思議な言葉)』(短編集)

2004 『Ate ao Oriente (仮題: 東洋まで)』(エッセイ集・日本に関する著作)

2002 『O Bebe que nao gostava de televisao (仮題: テレビが嫌いな坊や)』(児童書)

1998 『A Espera』(小説) 邦訳『待ちながら』(2006、近藤紀子訳、而立書房)

1987 『Hotel Lusitano (仮題: ルジターノ・ホテル)』(小説)

業績: 2007 米 Pushcart 賞ノミネート(『The Writing Bug』)

2005 ポルトガル PEN クラブ 2004 賞 (『Dadiva Divina』(仮題: 神の賜物))

2003 「東京国際ブックフェア 2003」ポルトガル代表作家として招待参加



「待ちながら」2006年刊行

【お問い合わせ】国際交流基金 文化事業部 生活文化チーム 担当: 今井真澄

電話: 03-5369-6060 FAX: 03-5369-6036 E-mail: Masumi\_imai@jpf.go.jp

国際交流基金

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1

[www.jpf.go.jp](http://www.jpf.go.jp)